

教員名	羽入 佐和子 (HANYU Sawako)
所 属	文教育学部人文科学科哲学講座
学 位	学術博士 (1982年 お茶の水女子大学)
職 名	教授
URL / E-mail	hanyu.sawako@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

実存の哲学 / コミュニケーション / ヤスパース / 哲学と科学 / 女性と社会

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・羽入佐和子「教科書に書かれた<いのち>の位置」2007.3
 (『「いのちの尊厳」教育における生命科学的思想の位置価値と育成課題に関する実証的研究』
 平成 17～18 年度科学研究費補助金研究成果報告書 課題番号 17530591 pp.57-62)

◆研究内容

1. 哲学的人間学に関する研究。「人間存在」を主要テーマとし、「価値」「生命」「尊厳」の概念、コミュニケーションの多様性についての研究を行った。とくに2006年度は「いのちの尊厳」をテーマに、医学、教育学、教育哲学、道徳教育の各分野の研究者と共同研究を行った。その過程で、教育実践の場における「いのち」や「尊厳」の位置づけを確認し、その結果を報告書にまとめた。

2. 女性の社会的状況に関する研究。本学の大学院イニシアティブ「<対話と深化>の次世代女性リーダーの育成」プログラムとイタリア文化会館・イタリア大使館との共同シンポジウムを実施し、統計資料を基に、現代における女性と社会について、日本とイタリアの状況を比較し、分析結果を発表した。なお、このシンポジウムの内容はお茶の水女子大学学術情報データベースで公開した。

◆教育内容

学部教育

1. 「科学的合理性」と「哲学的論理」の関連、「理性」、「コミュニケーション」について、その意味を哲学史的に概観し解説した。
2. 上記に関連する文献の購読と議論を主たる内容とした。用いたテキストは、I.Kant,"Zum Ewigen Frieden", J.Harbermas, "Erlaeuterungen zur Diskurethik","Text und Kontext."

大学院教育

「価値」および「価値判断」、宗教と哲学をテーマに、哲学的合理性の問題を論じた。

I.Kant,"Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft."をテキストとして使用。とくに「根源悪」の問題を議論した。また、大学院では上智大学との共同ゼミを実施した。

◆Research Pursuits

Main subjects in my research are philosophical anthropology, existential philosophy and comparative philosophy. We are doing a project on “the dignity of life” from the view points of medical science, pedagogy and philosophy. In this project, I have researched the idea of life form a philosophical view point.

◆共同研究例

「いのちの尊厳」に関する総合的研究

◆共同研究可能テーマ

- ・生命と倫理
- ・科学技術の進歩と人間の存在

◆将来の研究計画・研究の展望

科学的事実と倫理的価値の問題を哲学的に扱うことの意味とその手法を研究する。
具体的には「いのち」、「こころ」などの概念を対象とし、科学的探究の方法と哲学的方法との違いを明確にしてゆくことがテーマである。この研究を通して、日本文化の自然観や価値観の特色を解明してゆくことを目指している。これは同時に、「言葉」と「コミュニケーション」の問題、言葉の意義や意味、論理構造やコミュニケーションの多様性を分析することにもなると考えている。

◆受験生等へのメッセージ

ドイツの精神病理学者・哲学者である K.ヤスパースは「生命そのものは常に全体的なものである」といっています。

私たちが学問に求めるのは、対象を分析し、それによって自然を解明し、人間の生活を豊かにすることだといわれます。近代以降の自然科学は専らこのことを目指してきました。では、哲学の役割は何か。それは、分析によって見逃されているものや、分析の対象にならずに残ってしまうものはないか、を論じることだと考えています。

方法が対象を決定してしまうことを意識するのが哲学では大切だと思います。

◆Educational Pursuits

I have lectured on rationality, especially the difference between natural science and philosophy. In relation to this subject, we discussed philosophies of I. Kant, J. Harbermas and K. Jaspers.

One of seminars in the graduate course, we have cooperated with a class of Sophia University.